

## 【羽黒地域】羽黒山スギ並木保全計画策定事業

【事業年度：R5～】

### 取組みの背景や経緯

「羽黒山のスギ並木」は国の特別天然記念物に指定され、地域のかげがえのない共通財産であり、本市を代表する観光地のひとつとなっている。

しかし、植林から350年以上の老木となった杉並木は、平成29年に羽黒山三の坂にある埴山姫神社が倒壊する倒木被害が発生する等、参拝者や歴史的建造物への被害が懸念されている。

このことから、令和元年に地域内外の有志が協力し、杉並木の現状調査や地域住民アンケートを実施し、改めて杉並木の価値を再確認したことを受け、地域全体で杉並木の保全と活用に取り組むことを目的として、令和5年3月に「羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会」が設立された。

### 事業概要

羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会が取り組む事業を支援し、補助金を交付する。

【令和5年度】

- ・来訪者アンケート調査、杉並木デモ調査
- ・羽黒高校との連携事業、北大とのオンライン研究会

【令和6年度】

- ・ワークショップ、先進地視察
- ・羽黒高校との連携事業、北大とのオンライン研究会

【令和7年度】

- ・将来ビジョンとアクションプランの完成
- ・研究発表、シンポジウム
- ・羽黒高校との連携事業、北大とのオンライン研究会

### 事業効果・今後の展望

#### ■事業効果

本市の重要な観光資源である羽黒山スギ並木の保全と、山上山下の持続的な発展が期待でき、観光客及び参拝者の安全対策と、地域の宝である杉並木を次世代へ継承することにつながる。

#### ■今後の展望

協議会を発展させ、多様なステークホルダーを加えた管理運営団体を設立することで、協力金等の持続的な財源の確保により、杉並木を含む羽黒山全体の景観保全とまちづくりによる地域活性化が期待される。

【令和5年度事業の様子】



事業始動式



杉並木現地解説



来訪者アンケート調査



杉並木デモ調査



オンライン研究会